

JGAP / No,1 ,1- ①

牧場名称：

長谷川グループ牧場

◆所在地

〒779-0225

徳島県鳴門市大麻町松字西谷山6番地3

◆連絡先

TEL : 088-689-3844

FAX : 088-689-3846

◆代表者

長谷川 貴史



FUJIMITSU HASEGAWA

長谷川グループ牧場

◆農場規模

13.9ヘクタール (139,000m²)

◆特徴

徳島県鳴門市、吉野川の清流を見下ろす自然環境に恵まれた牧場で肥育しております。

オリジナルブランド牛「阿波黒牛」は、長期肥育を特徴としております。一般的に、交雑牛の出荷月齢は約21～22カ月で出荷されていますが、「阿波黒牛」のブランド定義で26ヶ月以上、出荷実績平均 27～28ヶ月で出荷し、他には無い高品質な付加価値の肉用牛として市場から高い評価と高いリピート需要を頂いてます。



長谷川グループ牧場



◆長谷川グループ牧場 SDGsへの取り組み



長谷川グループ牧場 SDGsへの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



*持続可能な開発目標(SDGs)の長谷川グループ牧場での取り組みについて、出来ることから始めるとして畜産肥育農場の働く仲間と家畜が、最適で快適な環境つくるとを目標とし、JGAP農場を取得から始めました。民間農場としては未だ取得が少ないが、JGAPの取り組みが自体が農場として、もう一歩進んだ取り組みとなった。

《 JGAPの目的 》



- *信頼される農場管理 責任体制の見える化、機械・設備の点検、整備ルール化などに取り組んでいます。
- *環境保全の確保 地球温暖化対策、生物多様性や周辺環境への配慮、地域社会との共生などに取り組んでいます。
- *アニマルウェルフェアへの配慮 国際獣疫事務局(OIE)が定めた国際基準に基づき快適性に配慮した飼養環境の改善に取り組んでいます。労働基準法等の法令遵守、差別の禁止、作業者の健康管理などに取り組んでいます。
- *作業者の人権福祉
- *食品安全の確保 生産工程を明確にし、食品安全の観点からリスク評価・対策に取り組んでいます。
- *家畜衛生の確保 家畜伝染病の発生予防や動物用医薬品の適切な使用・管理、飼料の安全確保に取り組んでいます。
- *作業者の安全確保 作業者の労働安全対策や労働事故の防止などに取り組んでいます。

長谷川グループ牧場 での取り組み事例

Umotion (人工知能家畜観察システム)



Umotion は、家畜(牛)の首部分にAIセンサーを取り付け24時間365日行動観察するシステムです。行動観察することで「疾病、起立困難や突然死」など事前に防げる課題は数多くあります。U-motionは、「採食・飲水・反芻・動態・横臥・起立」などの主要な行動を記録し蓄積したデータをもとに予測することで、より合理的で快適な家畜の環境づくりを可能にし、また、そこで働く作業者の計画的に最適で快適な作業環境をつくる事が可能になります。その結果ロスを削減します。

堆肥の有機肥料として再利用)



家畜から必ず発生する牛糞は、発酵・攪拌し、完熟堆肥化とされ有機肥料となり、契約農家や地域農家などへ土壤改良剤として再生されています。

自然エネルギーの利用)



長谷川グループ牧場の牛舎では屋根部分に太陽光パネルを設置しエネルギーを蓄熱しています。蓄熱されたエネルギーは牧場内で発生するラニングエネルギーとして利用しています。また、牛舎の屋根に設置することで夏季の太陽光を遮断し牛舎内へ熱を伝えない事で家畜の快適な環境づくりに繋がります。また、太陽光パネルは発電時に、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を排出しませんので、地球温暖化の防止にも貢献ができます。

◆ JGAP認証取得までの取り組み

【取得年度】 2019年度 8月

・ 認定取得のきっかけ

徳島県からの案内や、安心安全の付加価値として得意先からのオリンピック村への食材供給の要望や、既存出荷先の国内大手量販各社からの要望があったため。

・ 大変だったこと

従来の牧場管理のなかで概ね実行できていたが、書類等の管理が複雑になった。

・ 良かったこと

徳島県と共に作り上げた徳島県ブランド「とくしま三ツ星ビーフ」としてブランド定義とし、国内でも珍しい個体ごとの県知事認証ブランドが出来たこと。

・ 変わった事

GAPは世界基準なので、海外のお客様にも安心安全が目に見えて伝わった。国内輸出業者からの問い合わせが急増した。

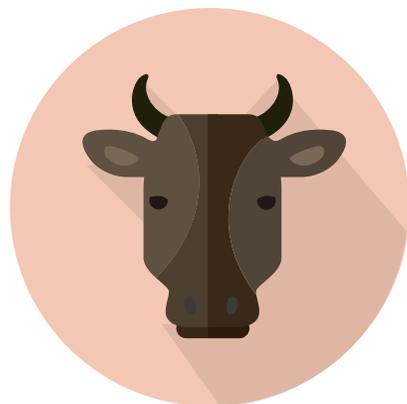
・ 具体的な取り組み

取得前と概ね変わりません。

・ 購入できる方法

一般小売はしておりません。





ご視聴いただきありがとうございました。
